



第28回

企業経営に活かせる、「助成金」をご存知ですか。



Profile プロフィール

株式会社ライトアップ
経営コンサルティング局 マネージャー

杉山 宏樹

助成金取得支援サービス「Jマッチ」の立ち上げを担当。昨年、助成金説明会を全国31拠点で開催し、年間5,000名以上の経営者が参加、年間10億円以上の助成金申請を支援している。

助成金は申請すれば基本的に皆受け取れます

日本経済の未来を支える中小企業の雇用促進をサポートするため、公的な助成金が多数存在します。審査によって給付を決める補助金制度と異なり、助成金は申請すれば基本的に皆受け取れます。しかも、基本的な受給要件は「従業員が1人以上いる」、「社会保険、雇用保険に加入している」、「半年以内に会社都合の解雇をしていない」の3つだけ。一度だけではなく、毎年同じ助成金に申請することも可能です。複数の助成金を活用すれば、毎年数百万というまとまったお金を受け取ることもできるのです。

まずチェックしたい助成金とは？

比較的申請が簡単で人気もあるのが「キャリアアップ助成金」の「正社員化コース」です。今雇用しているアルバイトや契約社員を正社員登用することで、1人あたり60万円(都内の企業であれば110万円)を年間15人分まで受け取れます。また「キャリア形成促進助成金」の「制度導入コース」も人気です。例えばキャリアに関して考える「キャリア面談」の制度を設けるなど、社員教育を推進し社員の定着化をはかることで150～250万円ほどが受け取れます。

助成金申請を成功させるポイント

助成金は企業経営に大きなメリットをもたらしますが、種類が非常に多いうえ、実施する省庁も複数に渡り、全ての情報を網羅するのは困難。また、申請手続きも複雑です。調査から申請まで社内で全てをまかなければとすると、膨大な時間と手間がかかるのが唯一の課題。助成金をもらうために忙殺されるのは本末転倒ですから、助成金専門の社会保険労務士や一部のコンサルタントなど「詳しい人に聞く」というのが最も良い方法です。

助成金の情報を効率よく収集するなら、中小企業庁が提供する「ミラサポ」や、助成金取得サービス「Jマッチ」を活用するのもおすすめです。「Jマッチ」では、自社に適した助成金を検索したり、専門の社労士を紹介したりするサービスも実施しています。

専門家の手を借りれば、継続的に助成金を活用する体制づくりもできます。事業活性化に助成金を役立てるために、まずは助成金申請のパートナーを見つけることをご検討ください。